

# 「共有して暮らすかたち」

東日本大震災以降、建築における「公共性」は、住宅においても考えざるを得ないテーマになりました。それは地域における住宅のありかた、もしくは住宅という形式そのものを見直すきっかけにもなるはずで。そのような状況で、私たちの暮らしはどうあるべきなのでしょう。その問題を考えるヒントは、様々な人々が混ざり合い、地域社会にも密着しながら、集まって暮らす中で、何かを「共有」することにあるかもしれません。集まって暮らすということは、集合することで形成される集合体だけでなく、もう少し広い範囲にも関係や影響が生じます。

本課題では、何らかの共有と関わりながら暮らす、100人のための住居群を計画してもらいます。どのような共有が考えられるかは、各自に想定してもらいますが、空間の共有、機能の共有、価値観や時間の共有など、そこで暮らす人々だけでなく、より大きな集合(地域)との共有も考えられます。共有とは関わり方を考えることでもあるので、街並みや地形、周辺住民の生活とどのように関わるかを考えることも重要です。

インターネットやソーシャルネットワークが浸透し、多様な価値観の同時存在と交流が可能になっている現在では、家族の集合だけが居住単位として有効であるとは限りません。最近よく見られるシェアオフィスやシェアハウスも同様ですが、何を共有するかによって、居住形態や求められる空間も変化します。実体を伴う建築だからこそ実現できる、共有や人と人の繋がり、ローカルであるが故に必然的に発生する場所との関係性を信じて、100人が集まって暮らすことで可能になる、多様な「共有のかたち」を提案してください。



審査員(敬称略)  
川辺 直哉(かわべ なおや) 建築家

略歴  
1970年 神奈川県生まれ  
1994年 東京理科大学工学部建築学科卒業  
1996年 東京芸術大学大学院修士課程修了  
1997年 石田敏明建築設計事務所  
2002年 川辺直哉建築設計事務所設立  
現在  
東京芸術大学・東京理科大学・法政大学  
芝浦工業大学・東京電機大学にて非常勤講師

## 設計条件

広島市内及び、その近郊で具体的な敷地を想定すること。  
100人の居住者が、何らかの共有と関わりながら暮らすことのできる住居群を計画する。  
提案の内容によって、住居以外の要素を付加して構わない。  
敷地の広さや建築の規模は自由とする。

## ■入選賞金

総額 300,000円  
審査結果は入選者に通知すると共に、五三会ホームページに掲載発表致します。

## ■審査方法

公開審査会場でのプレゼンテーションと審査員からの質疑を経て決定します。

## ■公開審査・表彰式

日時  
平成24年11月24日(土)13:30～

会場  
広島工業大学 3号館 201号室(広島市佐伯区三宅2-1-1 TEL082-921-3121)  
当日車で模型を搬入する場合のみ、駐車場の利用が出来ます。

## ■提出物

- 1.応募案  
タイトル、コンセプト、平面図、立面図、断面図(縮尺自由)パース、ダイアグラム等、設計意図を表現した物をA1サイズ(594x841mm)の用紙1枚にまとめる。
- 2.模型  
縮尺自由、自分の考え方が伝えられる表現とする。(公開審査当日、会場に持参)ただし当日、会場に來られない遠方の方からの応募も可とします。その場合の模型の扱いについては、模型写真を図面に貼り込むことで可とします。
- 3.CD-ROM  
応募案をA3に縮小したpdfファイルを焼き込んだもの。  
あるいは、応募案を接写したJPEGファイル(10MB程度)を焼き込んだもの。

- 注1 図面を分割して出力した場合は、必ず裏打ちをする事  
注2 提出データのファイル名は、応募案のタイトルとする事  
注3 模型は公開審査当日に持ち帰って頂きます

## ■応募規定

作品提出締切  
提出物のうち、応募案及びCD-ROMは平成24年11月17日(土)当日必着。持参の場合は、平成24年11月17日18:00迄。模型については公開審査当日、会場に持参して下さい。

提出方法  
応募作品の裏面に住所、氏名(ふりがな)、年齢、所属(学校名等)連絡先および電話番号を明記した紙を貼りつけ、下記に郵送または持参して下さい。合作の場合も同様です。

提出先  
〒732-0816 広島市南区比治山本町1-27 TEL 082-568-8633  
春日琢磨建築設計事務所内 五三会建築設計競技実行委員会

- その他
- ・応募作品は未発表作品に限ります。
  - ・応募登録の必要はありません。
  - ・課題内容及び実施要項に関する質疑応答は致しません。規定外の問題の解決は応募者の自由決定を可とします。
  - ・作品の郵送中における破損等の事故については、主催者はこれを補償いたしません。
  - ・応募作品は返却いたしません。必要な方は予めコピーなどを作成の上、応募してください。
  - ・応募作品の製作において、画像等の貼付を行う場合、その画像等の使用に際しては他人の著作権等を侵害しないよう、注意してください。
  - ・本設計競技応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、入選作品に対してはその発表に関する権利は主催者である五三会が保有するものとします。

主催：広島工業大学建築・環境系学科同窓会 五三会